

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス イッピー！		
○保護者評価実施期間	R8年2月 1日		～ R8年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R8年2月 1日		～ R8年 2月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訓練室が広い為、自主活動、集団活動、双方において力を発揮できる環境である。	活動にメリハリをつけるためにホワイトボードによるタイムラインの記載や、視覚からの効果も期待し床に目印をつけ行動しやすくなっている。	この広さを有効活用するための活動を増やす。
2	本や遊具などの道具が充実している。	目移りしてしまう為に視覚に入る道具の選別をしている。次々出して遊ぶのを防ぐ為に、今使っている物の片付け、「〇〇が欲しいです」と会話の引き出し、の手順で行動してもらう。	遊んでいる物を使用しての活動プログラムの構築。普段使用している物を利用することにより、興味をわかせ、抵抗無く、安心して参加できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常勤職員の勤務日(週1の人もいれば月に1回の職員も)がバラバラな為に、現時点での児童の様子が把握しづらくなっている。	直近の問題点等の共有は出来るが、古い情報の共有が難しくなっている。点と点の部分を話してもそれが線として繋がっていない。	細かい支援方針の打合せの時間を増やす。線の部分も含めた記録ノートの書き方を向上させる。
2	職員が多いために放デイの支援員としての基本方針(考え)に統一がない。	今までの支援に対して何の疑問もなく過ぎていた時間が長い為、支援員としてあるべき姿(方針)が固まってない。	会議や打ち合わせ、研修を増やし、職員全員が1チームとして動けるように資質の向上を図る。
3			